

Road to 71 国体 ～選手強化の取組～ vol.4

第71回国民体育大会強化委員会

去る10月6日に閉会式を迎えた第70回国民体育大会では、冬季大会・本大会共に強化事業の成果が表れ、本県選手団は天皇杯16位と、昨年度の37位から大躍進しました。

第71回国民体育大会強化委員会では、「チームいわて」が岩手国体でさらなる飛躍を遂げるため、各種事業を実施しています。

～競技団体情報交換～

国体強化責任者・監督等合同研修会



開催までいよいよ1年を切った希望郷いわて国体において、目標の天皇杯8位以内入賞に向けた今後の取組を確認するため開催しました。

研修会では、和歌山国体における県選手団の結果や先催県の得点を分析し、各競技団体・種別毎の課題と対策、各監督の役割を改めて認識するとともに、和歌山国体の入賞競技の監督から、具体的な取組事例を発表して頂き、それぞれが目標達成をイメージして、実現に向けたシナリオを描きました。

～先催県取組事例～

国体監督等研修会



11月17日に盛岡市内で開催された県体協理事会、競技団体会長会、県体協各種表彰式と併せ、国体強化関係者を対象とした国体監督等研修会を開催しました。

研修会にはおよそ200名が参加。情報交換に引き続き、今年天皇杯を獲得した和歌山県の競技力向上推進課長 星 香里氏から『奇跡への挑戦～天皇杯獲得に向かって～』と題し、5年前までは40位台を低推移していた和歌山県が天皇杯獲得に至るまでの取組についてご講演をいただきました。

講演は、スポーツで頑張る人たちや子供たちに自信や希望を与えたいという思いから天皇杯を目指したことや、残り1年の選手強化の具体的な取組事例、医・科学サポートやメンタルトレーニング、情報戦略といった側面的サポートの重要性などを、成果を踏まえてお話しいただき、『岩手県も天皇杯を獲得できます。頑張ってください』と力強い応援メッセージを最後に終了となりました。

参加者は、「チームいわて」として一致団結し、岩手県も歓喜と感動を県民に与えられるよう頑張ろうと、決意を新たにしました。

~国体結果報告~

競技団体会長会



競技団体会長会では国体強化委員長の達増知事の出席のもと、各競技団体の会長が一堂に会し、わかやま国体での岩手県選手団の結果報告と、いわて国体に向けた今後の取組についての意見交換会を行いました。

意見交換会では好成績を収めた競技団体の会長から、効果的だった強化事業や得点獲得のための戦略などの説明があり、各競技団体は練習の質の向上やメンタル・フィジカル両面のコンディショニング、勝負のポイント、他県分析や選手が競技に集中できるような環境づくりなど、多面的な取組・サポートについて、情報共有しました。

達増国体強化委員長は『和歌山国体で16位の成績を残し県民の意識・関心も高まってきている。岩手国体での県選手団の大活躍が復興に尽力する県民や地方創生に努力している方々の大きな励みとなる。復興・地方創生それぞれを成功させるためにも、国体を成功させなければいけないし、その成功の中心にあるのが競技力向上による目標達成であると感じている。県として選手団の活躍に向け強力にバックアップするので、頑張ってください』と激励しました。



岩手県選手団総監督の川口県体協副会長兼理事長は『和歌山国体16位、ここから勝負であり、更に厳しい道のりが待ち受けています。各競技団体が一枚岩になることが勝負であり、最高・最強の準備をして岩手国体を迎えるためにも各競技団体会長の皆様には、引き続き陣頭指揮をお願いします。みんなの力を合わせ成功に導き、みんなで喜びの涙を流せる国体になるよう御協力よろしくをお願いします。』と協力を要請しました。



がんばれ! 岩手県選手団